

学校教育目標

『進んで学び合い 心豊かに たくましく生きる子の育成』

～主体性・社会性の育成～

「おはよう」「なかよし」「やりぬく子」

学校経営方針

- ①心も身体もたくましく、思いやりのある子どもを育てる。
- ②すべての子どもが「人権尊重の精神」を高めながら、自己有用感を感じることができる学級・学校づくりを目指す。
- ③授業力を高め、基礎的・基本的な学習内容の指導を徹底すると共に、子どもに自ら学ぶ意欲と、主体的に学習する態度を養う。
- ④家庭・地域との双方向の信頼関係に基づく地域ぐるみの学校づくりを進める。

めざす子ども像 自らの力で自らの未来を創造する子ども

確かな学力

■学ぶ意欲があり、進んで学習する子

- ・主体的な学習ができる子
- ・問題を見つけ、協働しながら考えをつなぎ、解決できる子
- ・自分で課題を設定し、家庭学習を進めることができる子

豊かな心

■他者を思いやる心を持ち、人やものを大切にする子

- ・自分を律することができる子
- ・他者のよさを認め、人権を大切にできる子
- ・他者の役に立つために自分から行動ができる子
- ・規範意識を持ち、規律を守れる子
- ・自分のまちや京都を愛し、大切にできる子

健やかな体

■自分の体を大切にする子

- ・基本的な生活習慣が身についている子
- ・健康や安全に対する意識を高く持ち、正しく行動できる子
- ・進んで運動に親しみ、楽しく活動できる子

主体的・能動的な授業の実践
めあて・言語活動・振り返り道徳教育の充実
「道徳」の時間を軸とした道徳教育「いのち」の尊厳を伝える実践
自分で健康・安全を管理する教育

めざす学校

■通いたい（子ども）、通わせたい（保護者）、働きたい（教職員）と思える学校

- ・子どもの命を守り切る学校
- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする学校
- ・共に学び合い、高め合い、助け合う姿が見られる学校
- ・明るいあいさつや返事が響き合う学校
- ・保護者・地域の方々に信頼される学校

めざす教職員

■自身の職務に誇りを持ち、情熱を絶やさず挑戦を続ける教職員

- ・初志を忘れず、自身の資質向上をめざし、自己研鑽を惜しまない教職員
- ・鋭い人権感覚を持ち、それをもって言動を行う教職員
- ・常にコンプライアンス意識の向上をめざし、子ども・保護者・地域・同僚から信頼される教職員（公務員倫理法遵守・ハラスメント行為の禁止・職場モラルおよびマナーの向上）
- ・心のこもった挨拶、丁寧な言葉遣いで明るく元気に対応する教職員
- ・地域や京都について学び、子どもに伝えられる教職員
- ・地域や外部組織との協働をもって、子どもを育む教職員

家庭・地域との連携

- ・学校運営協議会の充実
- ・安心安全の取組推進
- ・地域素材の教材化
- ・放課後まなび教室、児童館との協力連携
- ・保・幼・小・中連携
- ・家庭学習の習慣化